

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス わんらいふ			
○保護者評価実施期間	2025年3月1日 ~ 2025年5月15日			
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	20名	(回答者数)	14名	
○従業者評価実施期間	2025年3月1日 ~ 2025年5月15日			
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	9名	(回答者数)	9名	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年5月25日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用している子供たちやご家族にとっても、安心できる居場所となる様にしている。	子ども達の要望を傾聴しながら、できるだけ取り入れながら活動をしている。 子供たちの話を聞いて、共感を大切にしながら一緒に見透しを立てる支援を心がけている。	個々の空間を確保し安心して過ごせるように配慮する。
2	子ども達の成長が実感（共有）できる。	・児童それぞれが自分で出来る事を継続可能な支援をする事で、自信に繋げ意欲向上できる様に支援している	・子ども達の発達状況の把握に努め、情報共有を継続しながら、子供たちに自身の目標達成の喜びを分かち合える様にする
3	事業所周辺に公園・広場・公民館等、いつでも使える場所がある	・公共施設（公園や広場など）を使用しながら、近隣の児童との交流が行われている	・地域交流の機会を増やし、集団への適応能力を高める支援を継続する

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	事業所で家族支援プログラムが実施できていない。情報収集が足りず、研修会の案内が行き届いていない。	外部から情報収集をして、保護者に提供できる様にしていく。保護者が求めている事を聞き取り・把握する必要があるため、定期的な面談等の際に確認する。
2	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	令和6年中は、家族会の開催ができなかった。	令和7年は、家族会を開催できるように調整する。
3	職員の人材育成	療育現場において、個々に対する適切な支援方法が支援する職員によってばらつきがある。 支援方法がわからず、対応に困惑する場面がある。	・児童発達支援管理責任者による、個別指導を実施。 ・職員の要望を聞きながら、職員研修の充実を図る。 ・外部の研修等に積極的に参加し、他職員への周知を図る。 ・相談する場を定期的に設けて、コミュニケーションを多く図る。